

# 第75回秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会

# 第69回秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会

## ミキプルーン スーパーカレッジバレー2022

### 大会運営ガイドライン

## I. はじめに

本ガイドラインは新型コロナウイルス感染症拡大における大会開催の際の取り組みについてまとめたものです。本大会を開催するにあたり、公益財団法人日本バレーボール協会による「バレーボール競技に関わる大会等の再開時のガイドライン」を遵守すること。

また、本資料は、「試合開催におけるガイドライン」と踏まえ、大会参加者及び大会運営者は熟読するようにしてください。

## II. 感染リスクについて

### (1) バレーボールにおける感染のリスク

バレーボールは競技者自身が相手と接触して行う競技ではないが、1つのボールを介して競技を行う。そして1コート（18m×9m）の中に12人のプレーヤーを含む為、試合をした選手全員が濃厚接触者となる可能性が高い。また、直近の試合のチームメイト、対戦相手に感染者が出た場合、チーム全員が濃厚接触者となる可能性が高くなり、経過観察が必要になる事が考えられる。

### (2) 選手個人のリスク

高強度・長時間の運動により、免疫機能が一時的に低下することが知られています。

新型コロナウイルス感染症に対する免疫応答は現在研究が進められている段階で不明な点が多々ありますが、これまでの風邪対策の知見を参考にすると、激しい運動による免疫機能の低下は可能な限り避ける、もしくは低下後の免疫機能の回復を促進させることが重要である。

一人ひとりの基本的感染対策（3つの基本）を徹底すること。

- ①身体的距離の確保
- ②マスクの着用
- ③手洗い、手指消毒

### (3) リスクの予防について

感染リスクに伴い、大会参加者及び運営者はここで示す、ガイドラインを遵守すること。

また、通常の公式戦に近い形で試合を設定するが、コート設営や試合時間の設定など感染対策を第一に行うこととする。

また、個人の取り組みとして、こまめな手洗い・うがい・消毒の実施に協力すること。

### Ⅲ. 大会の開催について

大会開催・中止判断について

大会開催条件

- ・参加チームのエントリーが正規にされていること。
- ・参加チーム及び会場で感染症対策が十分に行われていること。
- ・運営代表者及び参加者が本ガイドラインを遵守していること。

大会中止判断

- ・学連役員及び理事会が続行不可と判断した場合は中止とする。

### Ⅳ. 大会関係者のコロナウイルス感染症対策について

#### (1) 関係者全体

##### 【大会期間前の対応】

大会運営関係者・チーム関係者には

- ①ONETAP SPORTS を使用し、大会 2 週間前から 2 週間後までの体温を記録する。

##### 【大会期間中の対応】

大会 2 週間前から終了後 2 週間までの体調不良者、また感染症発症者（新型コロナウイルス、インフルエンザ等）が出た際、下記報告窓口へ速やかに報告すること

報告窓口 (一財)全日本大学バレーボール連盟 感染症対策窓口 [mail : health@juvf.jp](mailto:health@juvf.jp)  
TEL : 080-7024-8970

※感染者が確認された場合、その確認当日に学連の各部担当者から使用会場の事務局及び対応窓口にご連絡致します。

##### 【大会参加者へ向けた対応】

①関東 1 部、2 部リーグに関しては ONETAP SPORTS、その他出場チームに関しては Google フォームを使用し大会 2 週間前から終了後 2 週間までの体温を記録すること。ただし、大会中日で負けてしまい、最終日まで参加しなかった場合、負けてしまった日から 2 週間後までとする。

※大会 2 週間前→11月14日(月) / 大会 2 週間後→12月18日(日)

②大会前 2 週間における以下の事項の有無（全員分）

- ア 咳の有無
- イ 咽頭痛の有無状態
- ウ 頭痛の有無
- エ 体のだるさ
- オ 嗅覚・味覚の状態
- カ 家族・同居人の発熱および気になる症状

⇒ 該当する項目がある場合、勇気をもって参加を控えること

③大会当日の体温（全員分） ※37.4度以下であること

#### 【会場入場時について】

- ・入場の際には必ずマスクをしていること。また、入り口の消毒液を使用し手指の消毒を行い入場すること。この時、IDがある場合は持参すること。
  - ・入場したら、受付に行き検温を済ませること。
  - ・検温を済ませたら速やかに、自チームの待機場所へ向かうこと。
- ※移動経路については運営者からの指示に従うこと。

会場入場時に体温が37.5度以上あった対象者に対しては以下の通りとする

- ①再度体温を測り直し、それでも37.5度以上の場合、会場に入場させないこと。
- ②自宅（宿泊先）に一人で戻り待機すること。
- ③帰宅後また翌朝以降も熱が下がらない場合には、保健所に連絡の上指示に従う主務は、当該者について帰宅後と翌朝の体温を学連に連絡すること。
- ④一緒に来場した選手等に関して、上述ア～オの症状がない場合は入場を認める。
- ⑤熱を出した大会参加者がPCR検査陽性であった場合は、保健所の指示に従う。PCR検査陰性の場合は、体調の経過によっては医師や監督の判断で参加も可能とする。

## （2）チーム関係者

#### 【会場入場者の制限について】

- ・当日会場に入る事が出来るチーム関係者に制限はしない。
  - ・データ収集について、他コート、他会場にて行う場合、**3名**以内で行うものとする。
  - ・データ収集で他会場に入場する場合、他会場に行く人数分の入構者リストを作成し、受付に提出すること。
- ※データ収集については、感染症対策に十分配慮しながら行うこと。

#### 【入構者リストの提出について】

- ・入構者リストの提出に関して、以下の通り実施すること
- ・**自チーム**が試合を行う会場に入場する場合、提出は必要ない。
- ・データ収集等で**自チーム**とは**別の会場**に入場する場合、**別会場に入場する人分のリスト**を作成し、当日受付に提出すること。
- ・補助役員として、**自チーム**と同じ会場であっても**チームより早く会場に入場する場合、早く入場する人数分のリスト**を作成し、当日受付に提出すること。

※会場側の要望により入構者リストの提出が必要な場合自チームの試合会場であっても用意し、提出すること。

### 【試合時の注意事項】

○原則、全員マスクを正しく着用すること。

※例外として認めるのは、コートに入って試合を行っている選手（リベロ含め7名）のみとする。

（リベロ同士などすぐにコートに戻る交代がある場合、該当選手に限りマスクは着用しなくても良い）

また、試合を行っている選手についても着用してもかまわない。

※飛沫拡散防止の観点から不織布のマスクを推奨とする。

○ギャラリー席では、必ずマスクを着用すること。また、必ず1席空けて着席する事。

※ギャラリー席、ベンチ共に、発声、動作、接触を伴う応援を禁止とする。

立ち位置や座席の位置によって人との空間をとり、熱中症対策としてこまめに水分補給は行うこと。

○控え室及びギャラリーは、各チーム割り当てられた場所を使用すること。

※それ以外の場所を使用したい時は、学連に相談すること。

・使用した座席、場所は可能な限り消毒を行うこと。

※使用した場所は最後まで責任を持って、処理をすること。

・ゴミは会場に捨てずに、各自で必ず持ち帰ること。

※鼻水、唾液などが付いたゴミを処理した後は、手洗い・消毒を行うこと。

### 【控え室、更衣室等の使用方法】

・密集しないように、各チーム少人数で使用すること。

・昼食前後には必ず手洗い・うがい・手指の消毒を行うこと。食べる時は人との距離をとり食べること。

その際、マスクは衛生的に管理し放置しないこと。

・ゴミなどは残さず、可能な限り使用したところを各自で消毒すること。

### 【競技上の注意事項】

・待機場所は必ずギャラリーの指定された場所か、指定された控え室で待機すること。ウォーミングアップはスペースがあっても行わないこと。（ランニング、ダッシュ、発声を伴うアップ等）

・フロア開放時は、入り口の混雑を防ぐこと。

#### 《第2試合目以降のチーム》

・第2試合目以降のチームは受付で検温終了後、速やかに待機場所へ向かうこと。

・前の試合が終わっても、フロア開放の指示があるまでギャラリーで待機すること

（試合終了後の選手との接触は避けること。）

・ベンチスタッフ及びモップラーは必ず、人との距離を取ること。

・モップラーについて、補助役員の取り扱いとなるため、試合中の発声、選手と接触しないこと。

・タオル、ボトル、アイシングバッグなどの共用を禁止とする。

・原則、シューズの裏を手で拭かないこと

（自チームベンチ横に濡れ雑巾などを用意しているが、その際、競技中のけがに繋がらない事や、使用後の後処理も必ず行うこと）

・競技中のハイタッチをできるだけ控えること。

・試合開始時の挨拶は、両コートエンドライン上で行うこと。（ネット付近に集まり、握手などはしない）

・ベンチは最大7席とし、となりの椅子との距離を最低1席分は開けること。

・応援者は間隔をとり、マスクを着用すること。

### 【試合終了時の注意事項】

- ・ 終了後の換気・消毒作業中は試合チームのクールダウン時間とする。
- ・ 学連からのフロア撤退のアナウンス後は一斉にコートから出ずに、出入り口の3密を防ぐこと。
- ・ ミーティングを行う際は、3密を避けて行うこととする。
- ・ 試合終了後、速やかに会場から出ること。
- ・ ゴミは会場に捨てず、各自で必ず持ち帰ること。  
鼻水、唾液などが付いたゴミを処理した後は、手洗い・消毒を行うこと。
- ・ 大会終了後2週間まで健康チェックを行うこと。  
なお終了後2週以内に新型コロナウイルスの感染が判明した場合は、学連窓口まで速やかに報告すること。

## (3) 企業関係者

- ・ 申請書と大会2週間前から記入した健康チェックシートを、大会当日受付にて提出すること。
- ・ 受付にて、検温・IDを受け取り会場へ入ること。
- ・ チームの待機場所以外の場所でマスクを着用し試合を観覧すること。

## (4) 報道関係者

- ・ 申請書と大会2週間前から記入した健康チェックシートを大会当日受付にて提出すること。
- ・ 受付にて、検温し会場へ入場すること。

(配信を行う企業は学連に相談し会場との兼ね合いを含め必要最低人数で行う)

- ・ フロアでの撮影は会場により検討する。
- ・ インタビューをする際は、可能な限り電話等の接触しない方法で行うこと。  
なお、直接行う場合はマスクを着用の上、十分な距離を保ち行うこと。

## (5) 審判員

- ・ 試合当日は受付にて検温を行い控え室へ移動すること。
- ・ ミーティングの時間は試合開始時刻の1時間前とする。
- ・ ミーティングを行う際には、3密を避けて行うこと。
- ・ 可能な限り、主審・副審を派遣して行うが、派遣が難しい場合は、補助役員に該当するチームの有資格者が審判を担当することもある。
- ・ **ボールリトリバー、クイックモッパー**を行う者はマスクと使い捨て手袋の着用を必須とする。

それぞれ以下のように対策、対応を行う。

- 主審・副審 → 笛の上からマスクをすること。ホイッスルカバーも可。
- ラインジャッジ → 各大学からフラッグを持参すること。
- スコアラー → 各大学で筆記用具（青ペン・定規・修正・シャーペン・消しゴム等）を持参すること。接触箇所（机、椅子、PC、マウス）においては、セット間及び試合間にこまめに消毒を行うこと。
- ボールリトリバー → 手袋を着用し雑巾を使用して、ボールの拭き取りを常時行うこととする。
- クイックモッパー → 手袋を持参し、各チームで用意した雑巾を利用し汗の処理を行う。

## V. 運営者の対策

### (1) 会場入場及び受付時

- ・大会参加者の検温の実施
- ・入りの常時開放を積極的に行い、換気に努める
- ・各種許可証の貸出禁止（企業 ID はリーグ開始前・使用後に毎回消毒する）
- ・使用物品（筆記用具、机等）についてはこまめに消毒をする。
- ・第2試合日以降のチームが入場し始めた際、控え場所（待機場所）の声掛けを行う
- ・第2試合日以降のチームがウォーミングアップを行わないよう、受付で声をかけ、必ず、待機場所での待機を促す。

### (2) 競技運営時

- ・試合開始時の挨拶は、両コートエンドライン上で行うこと。（ネット付近に集まり、握手などはしない）
- ・ベンチは最大7席とし、スタッフの椅子との距離を最低1席分は開けることとする。  
（会場の関係でスペースを空けることが難しい場合、詰めて設置してもよい）
- ・ウォームアップエリアは、会場によって異なるが、最低でも16㎡以上の空間を作ることとする。  
（控え選手が密集しないようにする為）
- ・セット間で、チーム関係者の手指や試合球、筆記用具などの消毒を行う

### (3) 競技終了後

- ・試合終了後、速やかに次の試合についてのアナウンスを行う
- ・使用した消毒用具・ビニール手袋等をまとめ、別途ゴミ袋に捨てる。
- ・試合後の手洗い・消毒の呼びかけを行う
- ・補助役員に手伝ってもらい、ビニール手袋を着用し消毒作業を行う。  
（点示・ボール・モップ・審判台・ネット・机等、その他使用した箇所）その間、次の試合のチームをフロア内には入れてはいけない。

### (5) 控え室・更衣室等の設置方法

- ・選手が使用する控え室の大きさにより、人数を制限し密集させないようにする
- ・常時、開放できる窓やドアを開けておく。
- ・机や椅子などの配置を工夫し、1.5～2mの距離を確保する
- ・学連が消毒液を設置する。

### (6) 会場の環境整備

- ・会場の出入り口、フロアの出入り口等に消毒液の設置
- ・トイレ・手洗い場に石鹸・ペーパータオル・ペーパータオルを捨てるゴミ袋の設置  
（時間を決めて定期的に交換を行う）
- ・使用する部屋のドアノブ、机、椅子やギャラリーの手すり等、共同使用部分は定期的な消毒を行う
- ・ゴミを扱う際はビニール手袋を必ず着用の上、処理を終えたら手洗い・手指の消毒を行う。
- ・会場の動線を作成し、選手関係者と観客が混在しないように心がける。無観客の場合も動線を作成する。

## VI. 移動及び食事時について

### (1) 個人での移動について

移動の際は、個人単位での予防対策を徹底してください。

公共交通機関の利用では、混雑を避け、会話を控える等の工夫を行うこと。

また、車での移動においても車外に出る際にはマスクの着用する等注意すること。

### (2) 食事について

座席を開け、正面の配席を回避すること。また、食事は一人ずつ取り分けた状態で用意し食事の会話は控えるようにすること。

# 第74回秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会 第68回秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会

ミキプルーン スーパーカレッジバレー2022

## 新型コロナウイルス対応指針

### 目次

- I、はじめに
- II、基本的な考え方
- III、基本的な本人の対応
- IV、基本的なチームの対応
- V、大会関係者全体の取り組み
- VI、本プログラムでお示しする対応指針
- VII、大会2週間以前から大会開幕までの対応
- VIII、大会期間中の対応
- IX、大会当日の朝の対応
- X、大会終了後の対応
- 参考文献

### I、はじめに

大会を開催するにあたり、公益財団法人日本バレーボール協会による「バレーボール競技に関わる大会等の再開時のガイドライン」、関東大学バレーボール連盟による「第75回秩父宮賜杯全日本大学男子アレーボール選手権大会・第69回秩父宮妃賜杯全日本大学女子バレーボール選手権大会・ミキプルーン スーパーカレッジバレー2022大会運営ガイドライン」感染者等の対応については、「新型コロナウイルス対応指針」以上3つの内容を踏まえ、大会参加者及び大会運営者は遵守すること。不測の事態、またはその他記載されていない内容については、保健所の指示を仰ぎ、大会実行委員会にて判断する。

### II、基本的な考え方

基本的に保健所による指示・基準に従うこと。保健所の基準に対応・記載等がない場合は大学及び部活動による基準に準ずること。大学による基準がない場合は本ガイドラインに則ることとする。

感染症を広げない為には、体調不良を感じた際

- ①体調の変化を無視せず、チーム関係者へ相談すること
- ②体調不良の際、速やかにチーム関係者および運営者へ報告すること以上のような個人及びチームでの判断・報告が大切になります。感染症は、いくら予防していてもかかってしまう恐れがあります。当連盟は、大会に参加する皆様の感染予防の取組を最大限考慮した上で、大会を開催します。  
“感染者を増やさない” ためにも、体調不良時には参加できない旨をお伝えください。



### ●本指針での濃厚接触者疑いの基準

濃厚接触者とは、患者（陽性と判定された方）の感染可能期間に接触した方のうち、次の範囲に該当する方となる。

- ・陽性者（陽性疑い者） 1 m以内で必要な感染予防なし（マスク着用等）で15分以上会話したもの
- ・陽性者（陽性疑い者）と同居あるいは長時間の接触（車内、航空機内等を含む）がある。
- ・陽性者の分泌物や体液等に触れた可能性のあるもの

＜例＞寮や宿泊施設で同室の人、トレーナー（マスクや手袋なしで処置したもの）・陽性者（陽性疑い者）と必要な対策をせずに飲食を共にしたもの

※必要な対策とは、距離（1人おき交互など）、食事時間、会話を慎む、食事前の手指消毒等をいう

### ●本指針での感染疑いを含む体調不良の基準

- ・大会前2週間以内に37.5度以上の発熱が2日間以上、大会期間中に同等の発熱があること・咳・喉の痛み・倦怠感・味覚異常・嗅覚異常等があること

### ●本指針でのクラスターの基準

陽性者及び濃厚接触者がチーム内感染により5名以上発生した場合

### ●感染者の復帰タイミングについて

感染者の復帰タイミングについては保健所の指示に従うこと、及びPCR検査、抗原検査等の検査方法により陰性が確認できることを条件とする。自宅療養解除もしくは完治診断からの復帰においては体力低下や体調がすぐれないケースもあるため、医療機関等と相談しながら選手の復帰タイミングを検討すること。

## Ⅲ. 基本的な本人の対応

### ●感染疑いを含む体調不良者に対する対応

基準の症状があった場合37.5度以上の発熱が2日間続いた場合は医療機関または保健所に連絡し指示に従うこと。また、発熱症状がなくても症状が続いた場合、特に呼吸困難、倦怠感などの強い症状が発生した場合も医療機関または保健所に連絡し診断結果が出るまで待機すること。その後、直ちに本連盟へ報告を行うこと。

→本人陽性の場合

医療機関または保健所により濃厚接触者の有無の確認

※医療機関または保健所により濃厚接触が確認できない場合は大学及び部活動による濃厚接触疑いの判断基準に準ずること。大学による基準がない場合は本ガイドラインの判断基準に準ずること。

→本人陰性の場合

本人は試合参加可能

### ●濃厚接触者に対する対応

○本人の身近な人が感染疑いを含む体調不良となった場合

本人の身近な人の医療検査の結果が判明されるまで自主隔離の上、試合参加を見合わせる。

→結果陽性の場合

本人は濃厚接触者として医療検査受診

→結果陰性の場合

本人は試合参加可能

○本人の身近な人が濃厚接触者と認定された場合

本人は身近な人の医療検査の結果が判明されるまで自主隔離の上、試合参加を見合わせる。

→結果陽性の場合

本人は濃厚接触者として医療検査受診

→結果陰性の場合

本人は試合参加可能

○本人の身近な人が陽性と認定された場合

本人が濃厚接触者のため、自主隔離の上、医療機関または保健所に連絡し指示に従うこと。

#### IV. 基本的なチームの対応

- 新型コロナウイルス陽性者発生後の本大会参加について、大学側からの活動許可、参加許可があり、試合ができる人数がいる場合、原則参加するものとする。

(ただし、長期間活動を停止していた場合について故障のリスクがあるため、ある程度練習をしてからの参加とする。また、主力選手が復帰できていないなどの理由での棄権、延期は認められない。)

- チーム関係者に感染疑いを含む体調不良者が確認された際の対応

当該者と接触があったチーム関係者・大会運営者の確認及び該当者の行動歴を確認し、必要であれば提示できるよう準備をしておく。

〈当該者が陽性の場合〉

濃厚接触及び濃厚接触疑いのあるチーム関係者・大会運営者は活動停止し自主隔離及び経過観察を行う。濃厚接触がなく濃厚接触疑いもなく症状も無い場合は試合参加可能とする。

- チーム関係者に濃厚接触者が確認された際の対応

当該者と接触があったチーム関係者・大会運営者は経過観察を行うこと。

- 大会前に部内でクラスターが発生した場合

大会開始2週間前(11月14日(月))以降でクラスター(5人以上の陽性者)が発生した場合、また5名以下の陽性者であってもチーム全体の活動が停止している場合、大学側からの活動停止を命じられている場合は出場停止とする。ただし、大会前日までに全員の陰性が確認でき、大学から活動停止を言い渡されておらず復帰が間に合うと判断する場合、大会には出場できるものとする。

また、大会2週間前以前において部内でクラスターが発生した場合、必ず [health@juvf.jp](mailto:health@juvf.jp) に連絡し、検査を受けること。大会前に全員の陰性が確認され、部としての活動が停止されておらず復帰が間に合う場合、大会には出場できるものとする。

- 対戦チームに感染疑いを含む体調不良者、濃厚接触者、陽性者が発生した場合

保健所の基準に従い判断する。試合参加可能と判断された場合も経過観察をし、症状がないことを確認すること。

## V. 大会関係者全体の取り組み

### 【大会期間前の対応】

大会運営関係者・チーム関係者には

- ・関東1部、2部の出場チームに関しては ONETAP SPORTS を使用し、その他出場チームに関しては Google フォームを使用し、大会2週間前からの体温を記録する。

### 【大会期間時の対応】

今回、(一財)全日本大学バレーボール連盟として、感染症対策窓口を開設しました。大会期間前・中・後の体調不良者、また感染症発症者（新型コロナウイルス、インフルエンザ等）が出た際、報告窓口への報告に活用すること

報告窓口 (一財)全日本大学バレーボール連盟 感染症対策窓口 mail : [health@juvf.jp](mailto:health@juvf.jp)

※感染者が確認された場合、その確認当日に学連の各部担当者から使用会場の事務局及び対応窓口にご連絡致します。

### 【大会参加者へ向けた対応】

①関東1部、2部の出場チームに関しては ONETAP SPORTS を使用し、その他出場チームに関しては Google フォームを使用し、大会2週間前から2週間後の体温を記録する。

②大会前2週間における以下の事項の有無を確認すること（全員分）

ア 平熱を超える発熱（37.5度の熱が3日連続で出ていないか）

イ 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状、嗅覚や味覚の異常

ウ 体が重く感じる（だるさ、倦怠感）、疲れやすい、息苦しい（呼吸困難）等

エ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無

オ 同居家族や身近な知人の中で感染が疑われる方の有無

カ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航

又は当該在住者との濃厚接触の有無 ⇒ 該当する項目がある場合、勇気をもって参加を控えること

③大会当日の体温（全員分） ※37.4度以下であること

### 【会場入場時について】

・入場の際には必ずマスクを着用すること。また、入り口の消毒液で、手指の消毒を行い入場すること。

・入場したら、受付に行き検温を済ませること。

・検温を済ませたら速やかに、自チームの待機場所へ向かうこと。

※移動経路については運営者からの指示に従うこと。

会場入場時に体温が37.5度以上あった対象者に対しては以下の通りとする

①再度体温を測り直し、それでも37.5度以上の場合、会場に入場させないこと。

②自宅（宿泊先）に一人で戻り待機すること。

③帰宅後また翌朝以降も熱が下がらない場合には、保健所に連絡の上指示に従う主務は、当該者について帰宅後と翌朝の体温を学連に連絡すること。

④一緒に来場した選手等に関して、熱や味覚等の症状がない場合は入場を認める

⑤熱を出した大会参加者がPCR検査陽性であった場合は、保健所の指示に従う。PCR検査陰性の場合は、医療機関と監督の判断により大会への参加を認める。

## VI. 本プログラムでお示しする対応指針

大会2週間前から大会2週間後までに選手、チーム関係者、大会関係者もしくは同居家族から発熱を始める症状（感染疑い）が出た場合についての対応指針。

基本的には、大会会場の近隣の保健所、医療機関等に確認が取れることを想定しており、対応が間に合わない場合には自宅もしくは遠征先での待機とする。また、経過観察を行うこととする。

基本的な対応・速やかに、チームの代表者及び学連員に報告し、保健所に連絡し指示に従うこと。なおその際の移動は、出来る限り公共交通機関は使用せずに移動する。病院での受診結果を学連の専用窓口で報告する。

## VII. 大会2週間以前から大会開幕までの対応

大会運営関係者・チーム関係者には

●関東1部、2部については ONETAP SPORTS を使用し、その他については Google フォームを使用し大会2週間前から終了2週間後までの体温を記録する。

●個人の大会参加判断基準について

・陽性者および濃厚接触者と判明した者の隔離期間が試合前日までに終了していない場合は、大会出場は不可とする

●陽性者が発生した場合

「II. 基本的考え方」及び「III・基本的本人の対応」、「IV. 基本的チームの対応」に則る。

●濃厚接触者が発生した場合

「II. 基本的考え方」及び「III・基本的本人の対応」、「IV. 基本的チームの対応」に則る。

●感染疑いを含む体調不良者が発生した場合

「II. 基本的考え方」及び「III・基本的本人の対応」、「IV. 基本的チームの対応」に則る。

## VIII. 大会期間中の対応

大会運営関係者・チーム関係者には

●関東1部、2部については ONETAP SPORTS を使用し、その他については Google フォームを使用し体温を記録する。

●個人の大会参加判断基準について

・陽性者および濃厚接触者と判明した者の隔離期間が試合前日までに終了していない場合は、大会出場は不可とする

●試合当日に感染疑いを含む体調不良者、濃厚接触者が発生した場合

医療機関または保健所に連絡し診断結果が出るまで待機すること。陰性確認ができるまで試合への出場は不可とする。

●陽性者・濃厚接触者が発生した場合

- ①チーム内クラスターが発生（陽性者または濃厚接触者がチーム内感染により 5 名以上）した場合、また、5 名以下の陽性者であっても、大学側から部活動を停止されている場合、出場停止とする。  
ただし、大会前日までに全員の陰性が確認でき、大学から活動停止を言い渡されておらず復帰が間に合うと判断する場合、大会には出場できるものとする。
- ②陽性者または濃厚接触者が判明した場合、必ず大会実行委員会に報告することその後大会実行委員会の協議によりチームの大会参加について判断する
- ③保健所の指示に従い、随時当連盟へ報告する
- ④当該チームの参加が認められなかった場合、当該チームは棄権とする。
- ⑤相手チーム・補助役員・審判員等の対応についても保健所の指示に従うものとする。

●感染疑いの症状を含む体調不良が判明した場合

- ①当該者が当日来場していた場合、また来場していない場合についても医療機関を受診し、結果を当連盟へ報告すること。
- ②一緒に来場した選手等に関して、症状がない場合は大会実行委員会の判断により当日の大会参加を認める。
- ③当日の朝・夜、翌朝の体温を当連盟へ報告  
37.4 度以下の場合  
⇒・症状等無ければ大会参加可能  
・症状が少しでもあれば大会参加不可  
37.5 度以上の場合  
⇒・自宅（宿泊施設）待機とする  
※症状が続く場合は医療機関または保健所に連絡し、指示に従い当連盟に報告する

IX. 大会当日の朝の対応

○会場に来て次該当する場合は入場を拒否する

- ・検温の結果 37.5 度以上の発熱がある場合
- ・健康チェックシートの提出がなされていない場合
- ・事前に入館申請がなされていない場合

●大会当日の会場の検温にて 37.5 度以上あった場合

- ①再度接触型の体温計で測り直し、それでも 37.5 度以上の場合、入場を拒否する
- ②そのまま医療機関を受診し、医師の指示に従い、当連盟へ報告する
- ③帰宅後また翌朝以降も熱が下がらない場合には、医療機関または保健所に連絡の上、指示に従う  
主務は、当該者について帰宅後と翌朝の体温を学連に報告すること
- ④一緒に来場した選手等に関して、症状がない場合は入場を認める
- ⑤その後、当該者が陽性であった場合は、「Ⅲ・基本的本人の対応」、「Ⅳ・基本的チームの対応」に則り、大会実行委員会の協議によりチームの大会参加について判断する。  
陰性の場合は「Ⅱ. 基本的な考え方 感染者の復帰タイミングについて」に則る。  
※複数のチームから陽性者が出た場合、大会実行委員会の判断により大会中止とする可能性もある

## X. 大会終了後の対応

- 関東1部、2部について大会終了2週間後まで ONETAP SPORTS にて体調管理を行う。

また、その他出場チームについては Google フォームを使用し体調管理を行う。

※健康チェックシートでの管理を行っているものは、自己管理用のシートを用いて体調管理を行う

- 陽性者・濃厚接触者が出た場合、体調不良者が発生した場合

①保健所に必ず連絡し、指示に従う

②保健所からの指示内容も含め、当連盟へ随時報告する

⇒大会終了後の体調管理の記録及び行動履歴を提出する

③陽性者が出た場合、保健所の指示に従い関係するチーム・補助役員・審判員等に対処する

# 参考文献

## ○大会運営ガイドライン○

### ●公益財団法人日本バレーボール協会

「バレーボール競技に関わる大会等の再開時のガイドライン」

[https://www.jva.or.jp/pdf/covid19\\_guide\\_JVA2020.pdf](https://www.jva.or.jp/pdf/covid19_guide_JVA2020.pdf)

「大会運営ガイドライン」

### ●独立行政法人日本スポーツ振興センター ハイパフォーマンススポーツセンター

「新型コロナウイルス感染症対策としてのスポーツ活動再開ガイドライン」

<https://www.jpnsport.go.jp/hpsc/Portals/0/resources/hpsc/katudousaikaiguide.pdf>

### ●一般社団法人日本バレーボールリーグ機構

「新型コロナウイルス対策ガイドライン」

[https://www.vleague.jp/common/pdf/covid19\\_guideline\\_9th\\_20210210.pdf](https://www.vleague.jp/common/pdf/covid19_guideline_9th_20210210.pdf)

### ●一般社団法人Tリーグ

「Tリーグ新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」

<https://saas.actibookone.com/content/detail?param=eyJjb250ZW50TnVtIjo4MDk2OX0=&detailFlg=1&pNo=1>

## ○新型コロナウイルス対応指針○

### ・厚生労働省

「新型コロナウイルスに関する Q&A」

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/dengue\\_fever\\_qa\\_00001.html#Q3-3](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_00001.html#Q3-3)

### ・公益財団法人日本バレーボール協会

「バレーボール競技に関わる大会再開時のガイドライン」

<https://www.jva.or.jp/topics/uploads/2684/8abbc7d3dd799d920b16cb522595e3a.pdf>

### ・一般社団法人日本バレーボールリーグ機構

「新型コロナウイルス対策ガイドライン（第7稿）」

[https://www.vleague.jp/common/pdf/covid19\\_guideline\\_7th\\_20201006.pdf](https://www.vleague.jp/common/pdf/covid19_guideline_7th_20201006.pdf)

### ・一般社団法人Tリーグ

「Tリーグ新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」

<https://saas.actibookone.com/content/detail?param=eyJjb250ZW50TnVtIjo2OTc3N30=&detailFlg=0>